

## ソニー・ホンダモビリティ、CES® 2025 で「AFEELA 1」を発表

オンライン予約受付を米国カリフォルニア州にて本日より開始

ソニー・ホンダモビリティ株式会社 (SHM) は、CES® 2025 にて、「AFEELA」ブランドとして販売する最初のモデル「AFEELA 1」(読み: アフィーラ ワン) を発表しました。AFEELA 1 は、米国オハイオ州にある最先端工場での生産、カリフォルニア州における 2025 年内の正式発売と 2026 年中旬の納車開始を予定しています\*1。装備やカラー設定の異なる 2 トリム展開で、価格は、特定の機能と装備の 3 年間無料サブスクリプションを含む 89,900 米ドルからとなります。全額払い戻し可能な予約金 200 米ドルでのオンライン予約受付を本日より開始します。



SHM は、人とモビリティの関係を再定義することで、移動体験に革新をもたらすことを目指しています。最初のモデルとなる AFEELA 1 は、先進のソフトウェアと高性能なハードウェアとの融合がもたらすモビリティの知能化により、人とクルマとのインタラクティブな関係性を追求しています。人に寄り添う新しいモビリティとして、AFEELA 1 はクリエイターとの共創やソフトウェアアップデートを通じて、進化し続けます。

AFEELA 1 には、運転負荷軽減と安心・安全な移動体験を提供する先進運転支援システム (ADAS) およびモビリティとのコミュニケーションを可能にする対話型パーソナルエージェントが搭載されています。室内には、多彩なアプリやエンタテインメントコンテンツを楽しめる独自のサウンドシステムとディスプレイが、それぞれのシートに応じて最適に配置されています。クルマとしてのダイナミクス性能は、ドライバーとの一体感を追求して設計されており、軽快かつ安定感のある操縦性を実現し、上質な乗り心地を乗る人すべてに提供します。エクステリア・インテリアは、細部にまで調和のとれた普遍性を追求した

デザインで、内装には原料の一部に植物由来原料や再生材を使用する高品質な機能性素材を採用しています。さらに、AFEELA 1は、OTA（オーバー・ジ・エア）<sup>\*2</sup>により機能改良および拡張が可能です。

“ソニー・ホンダモビリティは、モビリティの智能化により人との関係を進化させ、移動体験に革新をもたらします。この度、自動運転時代に向けて開発した AFEELA 1 を CES<sup>®</sup> 2025 の場でお披露目できることを大変うれしく思います。AFEELA 1は、先進のソフトウェアと徹底的に磨き上げられたハードウェアを組み合わせたボディ（相棒）と呼べる存在です。お客様のご期待に応え、安心・安全で快適な移動体験を提供していきます。”

ソニー・ホンダモビリティ株式会社 代表取締役 会長 兼 CEO：水野 泰秀



- **運転負荷軽減と安心・安全な移動体験を提供する ADAS「AFEELA Intelligent Drive」**  
SHM 独自の ADAS である AFEELA Intelligent Drive は、AFEELA 1 に搭載されている 40 のセンサー（カメラ、LiDAR、レーダー、超音波センサー）が周囲をセンシングして収集するデータと、最大 800 TOPS の計算能力を持つ電子制御ユニット（ECU）を駆使し、AI 技術により Perception（認識）、Prediction（予測）、Planning（行動計画）の各工程で高度な運転支援を提供します。出発地点から目的地での駐車まで、エンド・ツー・エンドの経路でドライバーの運転負荷を軽減します。また、AFEELA 1 が常時モニタリングしている周辺環境および運転状況は、Unreal Engine<sup>\*3</sup>によりビジュアル化された ADAS ビューやマップとしてディスプレイに表示され、ドライバーに安心・安全な移動体験を提供します。
- **対話型パーソナルエージェント「AFEELA Personal Agent」**  
AFEELA 1 の室内において、ドライバーは、AFEELA Personal Agent との自然な対話を通じて様々な車載機能を音声でコントロールできるだけでなく、エージェントとの会話を楽しんだり、行動計画の提案を受けたりすることもできます。ドライバーにパーソナライズされたエージェントからの能動的なコミュニケーションが、移動時間と室内空間に快適さとエンタテインメントをもたらします。

- **エンタテインメント体験に最適化された室内空間**

AFEELA 1 の室内は、「Mobility as a Creative Entertainment Space」をコンセプトに設計されています。乗る人それぞれのシートに最適化された独自のサウンドシステムとディスプレイで、エンタテインメントパートナーの提供する多彩なアプリやコンテンツを楽しむことができます。ソニー・ホンダモビリティ独自のノイズキャンセリング技術・知見を融合させた圧倒的な静粛性と最適に配置されたスピーカーとソニーの立体音響技術（360 Spatial Sound Technologies）を駆使して没入感のある音場で高品質なオーディオ体験を提供します。なお、SHM は、社外のクリエイターやデベロッパーとの共創により、走行・車両データを活用したモビリティならではのエンタテインメント創出にも取り組んでいます。

- **人とモビリティとの一体感を追求したダイナミクス性能**

人とモビリティの一体感を細部にまで追求し、ドライバーの思い通りにクルマが動く軽快で安定性のある操縦性など、洗練された AFEELA 1 ならではのダイナミクス性能を実現しました。ロボティクス研究に基づく姿勢制御を応用してモーター、ブレーキ、サスペンションを統合的に制御し、様々な路面環境でも最適な乗り心地と軽やかなハンドリングを提供する 3D モーションマネジメントシステムや、車内エンタテインメントに集中できる遮音・制振性能を搭載し、乗る人すべてに上質な体験を提供します。

- **細部にまで調和のとれた普遍性を追求したデザイン**

デザインは、乗る人の心地よさを最優先に考え、車室を包み込む「オーバル」をコンセプトに、インテリアおよびエクステリアの細部にまで調和のとれた普遍性を追求しています。インテリアは、最上の移動空間を追求した洗練された空間づくりを、エクステリアは、装飾的な線や誇張された面の抑揚を徹底的に削ぎ落とした滑らかで、硬質感と緊張感のあるサーフェスの特徴としています。また、インテリアにおいては、乗る人が触れる箇所に、原料の一部に植物由来原料や再生材を使用する高品質な機能性素材を採用しています（インテリア表面積<sup>\*4</sup>ベースで約 70%採用）。ボディ鋼板やこれまで難しかったシャシーの一部にも再生材を使用しています。



### **トリム、価格、充電等について**

AFEELA 1 は、「AFEELA 1 Origin」と「AFEELA 1 Signature」の 2 トリム展開となります。両トリムともに AFEELA Intelligent Drive、AFEELA Personal Agent、厳選されたエンタテインメントコンテンツ、車両をデジタルでカスタマイズできる様々なテーマセットおよび 5G データ通信を 3 年間無料のサブスクリプションで利用できます。価格は、AFEELA 1 Origin が 89,900 米ドルから、AFEELA 1 Signature が、21 インチホイール、リアエンタテインメントシステムおよび C-CMS（センターカメラモニタリングシステム）を装備し、102,900 米ドルからです。エクステリアカラーは、「Tidal Gray」、「Calm White」および「Core

Black」の3色展開です。AFEELA 1 Signature では、エクステリアカラー3色と「Black」および「Gray」のインテリアカラーから自由なコンビネーションを選べます。充電は、テスラ社のスーパーチャージャーネットワークを利用できます。航続距離は最大 300 マイル<sup>\*5</sup> を目標に開発中です。また、購入後も安心して長く利用できるよう、高品質なサポートサービスも提供していきます。AFEELA 1の詳細は、ウェブサイト (<https://www.shm-afeela.com/>) をご覧ください。

日本市場における AFEELA 1 の納車開始は 2026 年内を予定しており、詳細については改めて発表する予定です。



SHM は、多様な知を繋げ、最先端テクノロジーを追求する Mobility Tech Company として、「3A」（Autonomy：進化する自律性、Augmentation：身体、時空間の拡張、Affinity：人との協調、社会との共生）をコンセプトとしてモビリティの革新を実現します。

\*1 AFEELA 1 Signature の納車開始は 2026 年中旬からで、AFEELA 1 Origin の納車開始はそれ以降となります。

\*2 OTA は、クラウド経由でソフトウェアを継続的に更新する機能のことです。

\*3 Epic Games のゲーミングエンジン。

\*4 インテリアの表面積とは、シート、ドア、ダッシュボード、グローブボックス、ルーフ、ピラー、ピースマットにおける表皮材の使用面積のことです。

\*5 AFEELA 1 Origin（北米仕様車）の EPA 推定航続距離は、約 300 マイルを想定しています。航続距離とバッテリー性能は、気温、運転習慣、充電状況、バッテリーの健康状態によって異なる場合があります。実際の結果は異なる場合があります。

本プレスリリースの AFEELA 1 は米国仕様車で、掲載されている画像、イラストは、AFEELA 1 Signature を表示しています。本プレスリリースに記載された製品の仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

AFEELA1の詳細やモビリティ関連サービスについては、1月7日（現地時間）の「CES® 2025」SHM プレスカンファレンス・オンライン中継 ([YouTube](#)) をぜひご覧ください。1月6日（現地時間）に実施したプレスカンファレンスのオフィシャル写真は本プレスリリースのアセットよりダウンロードできます。

#### <AFEELA について>

ソニー・ホンダモビリティが考えるモビリティ体験の中心に存在する“FEEL”を表した「AFEELA」は、人が、モビリティを“知性を持つ存在”として「感じる」こと、また、モビリティがセンシングとネットワークに代表される先進技術を用いて、人と社会を「感じる」こと、というインタラクティブな関係性を表現しています。AFEELA として初めて発売するモデル AFEELA 1 は、米国カリフォルニア州にて 2025 年内の正式発売を予定しています。

#### <ソニー・ホンダモビリティ株式会社について>

ソニー・ホンダモビリティ株式会社 (SHM) は、ソニーグループ株式会社と本田技研工業株式会社が 2022 年に設立したモビリティテックカンパニーとして、「多様な知で革新を追求し、人を動かす。」をパーパスに掲げ、モビリティ業界のイノベーションをリードすることを目指しています。両社の技術、知見や開発力を融合し、様々なパートナーやクリエイターとともに高付加価値モビリティの開発・販売およびモビリティ向けサービスを提供します。2023 年に人とモビリティの新しい関係を提案するブランド「AFEELA」を発表し、2025 年から初のモデル「AFEELA1」の予約を米国カリフォルニア州で開始しました。詳しくはホームページ (<https://www.shm-afeela.com>) や [Instagram](#), [YouTube](#), [X](#), [LinkedIn](#), [Facebook](#) をご覧ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

ソニー・ホンダモビリティ株式会社

Communications/PR [press@sony-honda-mobility.com](mailto:press@sony-honda-mobility.com)